

「うちらホンマに本気やでー!!」



戦争法廃止へ
怒りのパレード

大 阪

「うちらホンマに本気やでー」と25日、女性たちが大阪市北区で「戦争法廃止・怒りのクリスマスパレード」を行いました。主催は新日本婦人の会府本部などで行く実行委員会。サンタクロースの衣装や赤い色を身につけた怒りの「レッドアクション」でアピールしながら、200人がメインストリートの御堂筋をにぎやかに行進しました。

西梅田公園での出発前集会で実行委員長の杉本和・新婦人府本部長が諸団体有志による「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求め

る市民連合」の発足に触れ、「戦争法廃止の国民連合政府を呼びかける大きな動きが始まっています。子どもたちに平和を贈るためにがんばりましょう」と訴えました。

パレードはタンバリンなどでリズムをとりながら「武力で平和はつくれません」「戦争したがる政治家いらない」と唱和。写真を撮る若者など沿道の注目を集め、年配の女性2人が「戦争だけは絶対ダメ。私も安保法制は反対しています。がんばってください」と手を振って激励しました。